

## 年長 田植え体験 2021

この時期ならではの手仕事、梅ジュース作り。いただいた大玉の梅にようじまプチプチと穴を開け、瓶の中へ。砂糖をたっぷりまぶして、寝かせること1ヶ月余り、七夕過ぎの後、キンキンに冷やしていただきます。

さて、月曜日には年長組が越谷思閑新田にある山崎さんの田んぼで田植えを経験してきました。2001年から始まった田植えも今回で20回目になります。卒園児の親御さんでもある山崎さんは、農家の当主13代目。減農薬での米作りをはじめとして越谷の若手農家のリーダー的存在の方です。ろりぽぷの昼食のお米は、山崎さんの田んぼでとれた精米したてのものを届けてもらっています。

当日は、これ以上ないくらい田植え日和。初めは「気持ち悪い〜」と腰が引け、おそるおそる歩き始めた子どもたちでしたが、田んぼの中を進んでいくうちに泥の感触に慣れ、あつという間にいつものろりぽぷ子です。聞こえてくる声もいつの間にか「気持ちいい〜」に変わっていました。「3本くらいちぎって指でつまんで水の中へ植えてごらん」という山崎さんの説明に、思い思いちぎっては水の中へ。張られたロープの目印に従って苗を植えては一步後退。それを何度か繰り返す子どもたち。苗の束を何度もおかわりする子、数回植えてもう満足する子、こころ個性色でした。

ひととおり植えたところで泥んこタイム。あつという間にかけ出しワリ、産り込んたり、タニシをつかまったりと、それぞれが泥とたわむれまわっている。山崎さんは日頃から園児には田植えの経験はしてもらいたいくれど、きちんと植えることよりもまずは田んぼの中で泥の感触を楽しんでもらいたいと、おっしゃっています。山崎さんの願い通り、とびきりの笑顔は、友だちと一緒に泥んこになって、心が解放された結果なのだと思います。一度も田んぼに入らな経験がないという大人も多い中で、子どもたちが田植えができる環境にあるということは、本当に幸せなことだと感謝しています。

最後に嬉しいニュースがひとつ。当日、山崎さんと共に子どもたちをサポートしてくれた卒園児のひろきん(30歳)農業を継ぎ14代目となるそうです。

### 田植え～年長～ 5月24日



2021.05.24

### 5月生まれのおともだち



### 梅ジュース作り 5月25日



2021.05.25

### 6月の予定

- 1日(※) 集金・ラッコクラブ
- 7日(月) 春日部 お話の会(年長)
- 8日(※) ピーカーズ・ラッコクラブ
- 15日(※) ピーカーズ・ラッコクラブ
- 22日(※) ピーカーズ・ラッコクラブ
- 29日(※) ラッコクラブ

### 入園します(6月～)

さくらんぼぐみ

### 6月生まれのおともだち

もも	そら
さくらんぼ	くま
ほし	きりん
おめでとう!!	